



超高齢化社会こそ 重要になる消化器内科の役割

— 内視鏡による早期診断・低侵襲な治療から緩和治療まで —

超高齢化社会の到来とともに、日本人の2人に1人が癌になり3人に1人が癌で亡くなる時代となります。阪神尼崎地域でも、“救急医療”とともに“癌”への十分な対応が必要になります。超高齢患者さんであるからこそ内視鏡による低侵襲な治療・処置の重要性が高まります。新病院消化器内科では、24時間の消化器救急病態(消化管出血、胆石、急性膵炎、腸閉塞など)への対応のほか、消化器癌に対し①早期発見・早期治療②集学的医療③緩和医療を地域医療機関と連携して手厚く行っていきます。

県立塚口病院
消化器内科科長

宋 泰成

日本消化器内視鏡学会
指導医
日本消化器病学会指導医・
専門医
日本内科学会認定医

県立尼崎病院
消化器内科科長

木村 利幸

京都大学医学博士
京都大学臨床教授
日本内科学会認定医・指導医
日本消化器病学会指導医
日本消化器内視鏡学会指導医

県立尼崎病院
消化器内科部長

松村 毅

京都大学医学博士
日本消化器病学会
専門医
日本消化器
内視鏡学会専門医



治療と検査

- 24時間救急対応
- 消化管全域(食道～胃～小腸～大腸)の検査診断体制:
上部・下部消化管内視鏡、バルン・カプセル小腸内視鏡など
- 早期消化管癌の内視鏡治療: 食道・胃・大腸癌の内視鏡
治療ESD、EMR
- 外科・放射線科と連携した最先端の集学的治療: 化学療
法、化学放射線療法 など
- 症状緩和と医療: 内視鏡的・経皮的減黄術、消化管ステ
ントなど減圧術、疼痛緩和 など
- C型肝炎ほか、肝疾患最新治療

対象とする疾患・病態

- 救急病態**: 異物誤飲、消化管出血、腸閉塞、胆嚢炎・
急性閉塞性胆管炎、急性膵炎など
- 消化管癌**: 食道癌、胃癌、大腸癌
- 肝疾患**: 急性肝炎、慢性C型肝炎、肝癌
- 胆・膵疾患**: 結石、急性・慢性炎症、癌



三列目左から: 藤本医師、山崎医師、増尾医師、中井医師
二列目左から: 福田医師、長尾医師、菱谷医師、北村医師、正木医師
一列目左から: 梅田医師、松村医師、木村医師、川崎医師、齋田医師



左から: 野本医師、小山医師、岡本医師、宋医師